

5年度インターハイ準備委設立総会
小玉会長 オール北海道で
来年2月 基本構想案承認へ

令和5年度全国高校総合体育大会(インターハイ)準備委員会は27日、札幌で、会長に小玉教育長、副会長に道高校体育連盟の平野雅嗣会長を選任した。

【道大附】道教育大附属剣路中学校の小林一博副校長が、9月10日に発行される書籍で、同校が展開したオンライン授業の軌跡を紹介する。高階玲治氏の著書『ポストコロナ時代の新たな学校づくり』の一節として寄稿したもの。同校が登録自粛期間中に全教科で行ったオンライン授業について解説し、新たな授業を創造する必要性にふれる内容となっている。

令和5年度全国高校総合体育大会(インターハイ)準備委員会は27日、札幌で、会長に小玉教育長、副会長に道高校体育連盟の平野雅嗣会長を選任した。続いて第1回総会を開き、堀内伸高副校長が、大会の目的や準備・運営体制などの基本的事項をまとめた北海道開催基本構想案や年次別業務推進計画案について説明。道・会場地市町村の業務分担、経費負担案も示し、来年2月開催の第2回総会で承認するとして、



準備委員会は、来年度設立予定の北海道実行委員会に先立ち、インターハイ開催を円滑に実施するために必要な準備を行うことが目的。関係機関、団体の代表者、各競技の会場市町村職員など委員約30人が出席した。

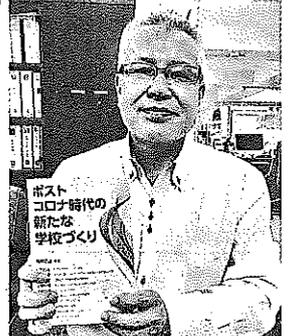
道議会文教委員が剣路管内視察

最前線にふれ成果把握

附属剣路中など5カ所

【剣路発】道議会文教委員会の委員10人が27・28日、剣路管内の学校、教育施設を視察した。道教育大

学園など5カ所を訪問。教育現場の最前線を見学し、教育活動の成果と課題の把握に努めた。笠井龍司委員長、畠山みづる副委員長など10人が参



【道大附】道教育大附属剣路中学校の小林一博副校長が、9月10日に発行される書籍で、同校が展開したオンライン授業の軌跡を紹介する。高階玲治氏の著書『ポストコロナ時代の新たな学校づくり』の一節として寄稿したもの。同校が登録自粛期間中に全教科で行ったオンライン授業について解説し、新たな授業を創造する必要性にふれる内容となっている。

オンライン授業の軌跡紹介

【道大附】道教育大附属剣路中学校の小林一博副校長が、9月10日に発行される書籍で、同校が展開したオンライン授業の軌跡を紹介する。高階玲治氏の著書『ポストコロナ時代の新たな学校づくり』の一節として寄稿したもの。同校が登録自粛期間中に全教科で行ったオンライン授業について解説し、新たな授業を創造する必要性にふれる内容となっている。

教育大附属剣路中・小林副校長

副校長を含め教育関係者9人で、小林副校長は第1章「コロナ休校をどう乗り越えたか」の第3節を担当。「オンライン授業をどう進めたか」というタイトルで、全教科での実現に向けた取組や実践の中での気付きを説明し、ポストコロナに向けて新しい授業を創造する必要性にふれた。



27日の視察後は、地元関係者との意見交換会を開催。管内における教育の現状や課題などを確認した。学校からの派遣要請を受け、その可否を検討して学校に連絡し、スクールサポーターを派遣する。元年度は41校に派遣。内訳は、札幌方面が18校、旭川方面が13校、剣路方面が10校となっている。

1259回
ポーター
まとめる

状況をまとめた。派遣校数は前年度と比べ1校減の41校。最も多かった活動は「情報発信活動」が1259回、「学校での巡回活動」が1